京城新聞

●外國貿易旬報

隆熙二年十月下旬（關稅局調査）

本旬

區別	本年分	前年同期
	圓	圓
輸出品價	四六四,二〇五	一,六六九,二〇九
輸入品價	一,五五七,八三三	一,七七二,二三三
合計	二,〇二二,〇三八	三,四四一,四四二
輸入超過	一	一

本年貿易額の港別は左の如し

本旬分

港別	輸出額	輸入額	計
	圓	圓	圓
仁川	三五,〇四七	五四八,八二一	六〇三,八六五
釜山	一三六,六〇五	二七九,七三〇	三〇二,八七六
元山	一六六,九九一	一八八,七三四	二〇五,七二五
鎮南浦	七七,九四八	一五一,五三七	二二〇,九七六
京城	三,八九八	一三二,五七八	一三六,四七〇
群山	八〇,三四四	一三三,二九六	二二五,五四〇
木浦	一一,三〇九	一二七,〇八一	一三八,三九六
馬山浦	一〇,一九五	二二,四六一	三二,六五一
清津	[illegible]	[illegible]	[illegible]
城津	一一,八九三	一九,七〇〇	三一,四九〇
新義州	一五,六九〇	三五,八六〇	五一,五五八
計	四六四,二〇五	一,五五七,八三三	二,〇二二,〇三八

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較すれば左の如し

（本年一月以降本旬迄の累計）

港別	輸出額	輸入額	計
	圓	圓	圓
仁川	四,〇五三,四四二	一六,六五〇,七二〇	二〇,九九四,一四六
釜山	三,三〇四,四三六	七,〇二五,九二九	一〇,三三〇,三六五
元山	九一八,一四四	二,五〇〇,六六九	三,四一八,八一三
鎮南浦	一,二四六,四九一	三,二〇五,四二二	四,四五一,九一三
京城	二三,六八五	八八六,四二三	九一〇,一〇八
群山	一,四〇三,六四七	六四五,四八一	二,〇四九,一二八
木浦	一,〇三四,一九二	五四四,六九一	一,五七八,八八三
馬山浦	二五二,二三三	七二一,一七七	九七三,四〇九
清津	一	一	一
城津	一八五,一八二	二三六,八六六	四二二,〇四九
新義州	四四六,六二〇	六三二,八六一	一,〇八〇,四八一
計	一三,八九九,〇三二	三三,三〇一,二四七	四七,二〇〇,二七九

（新刊紹介）

●東京經濟雜誌　依例有益にして趣味多き記事十數項就中勞働者は「大に團結を起すべし」「タフト氏の勝利」「臺灣統治の成績」等甚も讀むべしとなす（一部十二錢五十八卷千四百六十四號東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●芳譚　新たに生れし雜誌なり内容は標題の性質に基き芳ばしき譚及び立志談等を以て埋まれ居れり青年者流の墮落に陷れる昨今大に機宜に適せるものといふべし（一年一號五錢東京下谷區徒士町芳譚社）

落語　名奉行（一）

桂文枝口演

偖此のお話しは大阪南瓦屋町のことでございます。是は上は九の助橋から、下は二ツ井戸までの間を六丁目と申しまして、六ケ丁有ります、三丁目に和泉屋與兵衞といふ呉服商がありまして、誠に能く賣れます、其二丁目に帶屋久七と申します、是も矢張り呉服屋で、和泉屋とは正反對に極賣れぬ店で、人呼んでうれずやといふ位で、或日のこと店先へ……　久七「御免、今日は」番頭「是は〳〵帶屋の旦那でござりますか、マア〳〵此方へ」久「ハイ有難うござります、御主人は御在宅でございますか」番「へエ宅に居られます」久「一寸お願ひ申したい事がありまして、お目にかゝりたうございますが、如何でございませうか」番「ハイ一寸御申して見ませう。コリヤ子供奧へ行つて帶久の旦那がお目にかゝりたいといふてお越しでございますといふて來い」子「へエ……旦那樣に申上げます」與「何ぢや」子「アノ二丁目のうれず屋の主人が來て」與「アッ、コリヤ何にを云ふのぢや、うれず屋なんて、帶久樣なら帶久樣といふたら能いのぢや、憎まれるぞ、何の御用ぢや」子「お目にかゝつてお願ひがございますと申して居られます、此所へお通し申しませうか」與「アノ左樣か、何にかは存じませぬが、店は端近でございます、此處へお通り遊ばせ」番「コレ〳〵貴樣が直樣に取次のぢや無いぞ、番頭にいふのぢやぞ」子「へエ御番頭、申上げます、何にかは存じませんが、店は端近で」番「端近とは何んぢや、はし近であらう」子「何れ濱には橋がかゝります」番「餘計なこと云ふ、モシ帶屋樣何卒お通りと申されました」久「それは〳〵お邪魔いたします。御免」と奧へ參りまして　久「御免遊ばせ今日は」與「是は〳〵サア何卒此方へ」久「平日は御無沙汰いたしまして」與「イエ〳〵此方より御無沙汰仕て居ります」久「お店は相變らず御繁昌で」與「イエ〳〵左樣に云ふて戴くほどでもござりませぬが、御宅は如何です」久「サア其れに就きましてのお願ひ誠に申し兼ましたが、此三月が如何仕ても越せませぬ、御手元に二十金程明いた金子がございましたら、實は御拜借致したいと心得まして」與「ハア、左樣か。何によりも易い事、二十兩で宜敷いか。サア持てお歸り」久「早速の御承知、有難うございます、證文を致しますから、お證印を持つて居ますから」與「イエ〳〵證文は入りませぬ、私も又貴所にお借り申さねばならぬ場合がございます。マア〳〵久振りのお越で、コレ下女御酒を」と是から御酒を出しまして、馳走を仕て歸しました、善人でございますから二十兩の無心を聞いて其の上酒を飲ますと云ふは、なか〳〵出來ぬ事でございます、帶久は難有い男と見えて二十日程經ちますと　久「先達は誠に御面倒を申しまして、相濟ぬ事でございます、御拜借の金子慥かに御返濟致します」與「サア是ぢやから書附は入らぬと申しました。御覽なさる前で此の通り帳面に入れをして置きます。コレ下女御酒をと」御酒を飲して歸しました。今度は五月に　久「先達ては有難うございました、又申し兼ねましたが、烏渡三十金御拜借を」與「サアサア持つておいでなされ、書附は入りませぬ、コレ下女御酒を」と酒を飲して歸しました、二十日程たちますと　久「先日は有難う、三十兩御返濟を」與「ハイ〳〵御叮嚀に此通り帳面に入りを仕て置ます。コレ下女御酒を」といふて歸へしました、今度は七月　久「どうぞ五十兩」與「サア〳〵コレ下女御酒を」二十日程しますと　久「有難う五十兩御返濟」與「ハイ〳〵帳面に入りします。コレ下女御酒を」今度は九月　久「七十兩御無心を」與「サア〳〵コレ下女御酒を」二十日程たちますと　久「七十兩御返濟」與「帳面に入り仕ます。下女御酒を」今度は中拂ひどうぞ百兩」與「百ツフン大分金高が上つて來ましたなア面白い追々御繁昌と見わるゝ、それでないと面白くない、持つてお歸り成され、コレ下女御酒を」二十日たちますと持て來ん是は忘れて居るか何か都合のある事であらうと何分にも金滿家の事ですから心にも止めず其儘に打過ぎた大晦日となりますと若者が「旦那申上げます」與「何ンぢや」若「只今帶屋樣がお越しでござります」與「折角ぢやけれども今日は多忙しい、お通し申しても風情がない御年始の時ゆつくり〳〵お話しをいたしませうとお斷り申せ」若「へエ私も左樣思ひましてお斷り申しましたら百兩返濟に來たと申されます」與「ヲ、ほんにさうぢや忘れて居たお通し申せ」若「へエ」と若者が此由を傳へます　久「旦那今日は」與「是はマアお多忙い中を」久「イヤ誠に申譯のない事で延引しまして何卒百兩お受取を」與「ハイ〳〵左樣か、此通り帳面に入り仕ませう、一どお上げ申したいが、お見掛け通りの有樣で御酒は年明けて春永に致しませう。お茶でも」久「イヤお忙がしい中御面倒いたしましては」與「マア〳〵」若「へエ、旦那、今土居樣のお留守居、加藤左平次樣から急注文で他の者では間違ふゆゑ、主人に直に來いとお使いが待ツて居られます」與「ア、困つたなア、此の忙しいのに急注文とは、併しお屋敷樣の御用ぢや、コレ羽織を出してお與れ、帶屋さん失禮ぢやが參ります、御緩くり、コレ帶屋さんに、お茶一ツ上げなされ」と主人は出ました、細君は臺所で茶を入れ居ます、座敷には帶屋と今自分の持つて來た金と差向ひ、近傍に見て居るものも無いから金子をソッと袂へ入れて　久「御免」と歸つて仕舞ました、無斷で借りた金は返濟に來ません、與兵衞は注文聞いて歸宅した、日は暮る〳〵神棚へ燈明を上げてイザ寐酒となつた時。

謹で哀悼を奉る

清國皇帝崩御の報に始て接したるときに於ては余輩は之を信ずる能はざりき次で西太后の重態なる報に接したるときも半信半疑なりき、況や其崩御に於てをや、光緒帝の御病弱は久しきに承はる所なりしも[illegible]春秋に富ませらるゝを以て御病症の早晩快復せらるべきを信じたりき、西太后に至りては高齢に[illegible]心身共に頗る[illegible]にあらせらるゝを以て假令御病[illegible]り疑ふ可らずと信じたりき、然るに何ぞ期せむ、兩宮共に崩御の事實なる報に接す[illegible]然るに余輩は何となく兩宮は猶生存あらせらるゝが如くに感ず然れども事實は事實なり、嗚呼何ぞ哀惜の情に堪へんや、

兩宮の生前[illegible]何更に深き[illegible]治帝が十九歳の御[illegible]清朝即位の慣例たる[illegible]西太后は醇親王家より[illegible]御年四歳にして即位あらせらる[illegible]年間西太后攝政の[illegible]國家多難の局に當らせ給ふ、其間親ら萬機を統べ給ひたる事もありしが御病弱の爲に專ら西太后之に當らる、西太后は同治帝の崩去せられてより若き御女性にてありながら天資英敏俐發に渉らせらるゝを以て、光緒帝を助けて[illegible]國政の衝に當られ萬機を裁決せられ[illegible]しは列國の驚歎する所なり、而して爾來數十年孜々として倦むことなく、既に古稀の御齡を過ぐ[illegible]て國政を執られたり、[illegible]をして泰山の安きに置き[illegible]國に對して[illegible]を加へ、能く海内を統一して分割論を唱ふるものをして隙に乘ずる事を得ざらしめたり、兩宮御治世の間には種々なる出來事ありて國内紛擾したるも鋭意之を治め給ひて南清黨に一指をも染ざらしめたりき、日本との戰ひに次で北清團匪事件より、日露の戰爭等に於て、稍もすれば南清革命黨蜂起し滿朝を危からしめんとする形勢ありしも能く之を統制して[illegible]ながらしめたるは全く西太后の力たる也、而して爾來光緒帝と能く和協せられ、寛宏なる態度に依り南清黨の説を聽き絶に憲政を施行すべき事を發布して南清黨の反感を和め全清帝國の統一を謀り、一方には陸海軍を振興して國威を盛にしたる等其効蹟の著大なる擧て數ふ可らず、之を想ふて愈々兩宮の崩御を哀まざるを得ず余輩は清國前途の爲め將た東洋前途の爲に痛惜せざるを得ず、余輩は友邦國民として謹で哀悼の意を表し奉る、

漢城便り

▲前帝、西太后の崩御は獨り清國の大損失に止まらずして世界の大損失に有之候、東洋に於ける列國の權力平均は太后の按排に因りて是まで持續し來られたるものなるが今後は此按排者無く從て獨帝をして微笑を禁ずる能はざらしむるの狀態と相成らんかと痛心致候

▲長谷川軍司令官の歸朝は永久なるべしとの噂巷間に傳はり申候記者は大將の心事の如何を知らずと雖も大將にして若し半島を去らば[illegible]今日より甚しかるべきは記者の信ぜんとするところに有之候

▲今や八道の深山に猛虎跡を絶つ、幸に一虎將軍有つて[illegible]、好道子爵たる[illegible]

▲在韓外人間に於ける東洋拓殖會社の評判は極めて好良に有之候一外人曰く「日本の半島經營に於ける表情は極めて六ヶ敷者なり、而かも東洋拓殖會社の設立に因つて已に列國をも欺かざるの表情を爲したるは僅かに貸付の價あり」と嗚呼知己は外人中にも有之候

▲全羅南道觀察府を木浦に移し候由、地方行政刷新上至當の措置ならんと被存候、申すまでもなく地方政の中心たる觀察府は地方交通最便利の地に置かるべきものならんと被存候而らば只り全南のみならず他道の分をも移轉を行ふべきは當然と被存候特に京畿觀察府の如きは漢城府と合併して其府を京城に置くべきものならんと被考候

▲觀察府所在地の變更と共に地方裁判所の所在地をも變更すべきものと被考候地方交通の現狀及び將來を思はずして行ひたる配置は憾かに人民の不便と相成申候

北京電報

▲皇后殉死の説 光緒帝皇后は自殺して皇帝陛下に殉死せるの説あり

▲暗殺嫌疑 慶親王は官宦二名を捕へ取調中なり兩陛下暗殺の嫌疑ありと

▲破產續々 支那銀行及兩替店は續々破產し市民中荷物を片付け立退くものあり

▲袁世凱毒殺の説 袁世凱も毒殺されたりとの説あり

東京電報

▲弔問使派遣 清國兩陛下の崩御に就き我皇室よりは弔問使を派遣せらるべし

▲觀艦式の延期 神戶沖の大觀艦式は海上風波の爲に延期せらる(以上十七日發)

雜報

●韓皇の弔電 韓國皇帝陛下には清國皇室に對して左の御弔電を致されたり急を要するを以て統監府より在北京日本公使を經て轉傳せられたり

敬問貴 先皇帝陛下崩御朕心不勝悲悼茲表弔意 韓國皇帝

●平壤豐慶宮の奉移 平壤なる豐慶宮には古代よりの諸王の御眞影を安置しあるが今回宮内府に於ては京城に奉移することゝなり十八日午后六時四十七分南大門着列車にて輸送せらるべしと

●副統監の帶同謁見 曾禰副統監には十七日午前十一時今回入城せられたる露國總領事アレキサンドル、[illegible]氏夫人[illegible]氏及十八日歸朝すべき長谷川軍司令官同大藤副官を帶同參内し韓皇陛下に謁見せり

●拓殖社員候補者 近日設立の緒に就かんとする東洋拓殖會社は創立の際は總裁以下雇員に至るまで約七十名前後の人員を採用する豫定なるに今日まで同會創立委員の手許まで採用方を申込み來りし者約三千人に及びしと云ふ

●警視總監の訓示 若林警視總監は昨日京城内各警察署員日本人半數(非番巡査)を集めて新任の披露をなし且つ警察官の一般心得並に殊に韓國に於ける日本人警察官は韓人警察官の模範として一層職務に注意すべき事及び規律を嚴肅にして韓國民保護に力を用ふ可き事等を訓示したるが本日も殘部の非番職員に對して同樣の訓示演説をなせり

●大臣會議 定例大臣會議は統監官邸に十七日午後一時より開かれ四時散會せり

●參與官會議 十七日午前十時統監府にて定例參與官會議を開けり

●長谷川大將出發 長谷川軍司令官には大藤副官を隨へ十八日午前八時三十[illegible]分の列車にて出發歸朝すと

●總會と本社 赤十字社韓國總委員部總會の狀況は松平本社理事[illegible]任の上理事會に報告し尙松方社長を自邸に訪問し親しく其盛況を陳述したる由なるが何れも非常なる滿足にて早速皇后陛下に言上方然る可しとの事にて總會概要報告書に救護演習赤十字臨時病院及式擧行の寫眞を添へて上覽に供したる由

▲總會紀念章 今回の總會に參列したる社員に交付したる紀念章は出席者多數にして招待員にも配布したる爲め不足を生じたるに依り後れて出席したる社員には引換券を交付し置きたるが右此程東京より調製着荷したるを以て引換券持參の向は統監府内總委員部又は民役所に於て紀念章を交付すべしと

●財產整理の進捗 臨時國有財產整理局事務進捗の模樣を聞くに全國各地に存在する驛田、漁基、宮庄土の如きは既に全部其の所在地を管轄する財務監督局に又京城内外の土地及び建物は此れを度支部會計課に何れも引繼ぎを了し尙山林原野草生地牧場の如きは其の所管に從ひ農商工部或は内部へ引繼ぐ筈なりと云ふ

●地方裁判所支部開設 仁川に新設さるべき京城地方裁判所の支部は增員判檢事各一名の着任と共に開廳する筈にて其期は遠きにあらざるべしと

●各道の產物陳列 農商工部は產業奬勵の目的にて各道廳舍内に其の道内重要產物及び其の道に關係ある管外產物並に其の道内に需要せらるゝ外國[illegible]經費中より各道へ約千圓宛の支出をなす事とせり

●北韓航路運賃の亂調 從來北韓航路の運賃は郵船、商船兩社にて協定せしため動揺なかりしが近來半御用船の航海開始さるゝに至り端なくも競爭を現出し昨今にては通常運賃は兩社の協定率の約半額を保ち難きに至りたるため過般神戶に於て御用船に從事せる川崎、中越、右近の代表者と郵船、商船の代表者と會見して善後策につき相談を重ねたるが御用船側は郵船、商船兩社の運賃に一割の差を設けられたしとの事なりしも兩社の同意を得るに至らずして不調に了りたるが一方には晋州丸の此區間に定期便を開くありて一層運賃は亂調子となりたるより郵船、商船兩社は善後策につき目下協議中なりといふ

●韓人辯護士試驗 韓人辯護士試驗は既報の通り昨十六日より法官養成所に於て施行せられたるが志願者十三名の内缺席者一名あり既濟の試驗問題は左の如し

第一日 民法

第一問 私權の意義を説明せよ

第二問 特定物の賣買契約締結後に賣主が目的物件の引渡をなさゞる以前に目的物が天災によりて滅失したるときは其の滅失によりて生じたる損害は何人が負擔するか

同日 民事訴訟法

第一問 上訴と再審の差異如何

第二問 財產に對する强制執行の方法を説明せよ

第二日 刑法

第一問 犯罪とは何ぞや

第二問 年齡は犯罪に如何なる關係を有するか

尙第二日即ち本日は午後刑事訴訟法第三日(十九日)は商法及び行政法第四日(二十日)は國際(公私)法にして以上の筆記試驗に及第したる者は更に口頭試驗をなす由

●京城の消費米 當地に於いて消費せらるゝ精米の多くは從來仁川より供給を受け居たるが曩に大阪商船仁川支店が始めたる直送輸送即ち同地入港船の船貨物にして京城に輸送せらるゝもる方法にて群山より當地に輸送し當地へ輸送せらるゝ精米は[illegible]月より非常に增加し一ヶ月間二千六十五叺あれるが[illegible]月に入りて尙益々增加する傾向にて本月十五日までに於て既に千八百五十四叺の輸入を見たりと

●郵船會社鎭南浦支店 日本郵船會社が韓國航路船第一オハヨー號を廢航したる以來韓國航路船としては一隻も廻航せず唯だ北清命令航路船たる酒田丸高砂丸の二隻が社航間山東丸のみは往復共仁川に寄港するも鎭南浦には第二オハヨー[illegible]來一隻も廻航せられず又今後共本社[illegible]其の計畫なきを以て今回愈同地取扱の店を閉鎖することに決したる由なれば近く閉店すべしと云ふ

●高等女學校規則改正 仁川民團役所にては目下尋常高等小學校及び高等女學校に關する改正學則の起案中なるが今其重なる異點を聞くに學校に於て休業一ヶ月に亘るときは其月分の月謝を全免し十五日以上なるときは半月分を免除し又た生徒兒童に於て疾病其他止むを得ざる事故のため缺席全月に及ぶときは其月分の月謝を免除する等其他二三なりといふ

●仁川民團書記 吉田英氏は京城民團事務視察のため又仁川病院生駒幹事は京城漢城病院事務視察のため何れも十七日午前來[illegible]訪問せり

●光濟號の消息 過日仁川を拔錨して鴨綠江方面に向ひたる韓國沿岸取締船光濟號の消息を聞くに去る十五日鴨綠江に着し目下同方面に於いて浮標を引揚け居たるが多分本月三四日頃仁川に歸港すべしと

●仁江間警備電話 其筋にて愈々仁川、江華島間に警備電話を架設するに決したれば仁川郵便局電話係長村上慶治氏は本日より三日間の豫定にて實地踏査の爲めに出張すべし

●各國居留地會 來る二十日仁川各國居留地會を開き居留地の重大問題に付き協議する筈なり

●商業會議所役員會 一昨日午後五時より仁川商業會議所樓上に開催せる同所役員會の模樣を聞くに出[illegible]役員顯原、太田、田中、篠木の四氏にして提案に係る穀物檢查の件は大体に於て贊成なるも檢查施行の方法其他細目に亘る事項は仁川穀物協會より成案を求め然る後檢查規則及び施行細則を決定することゝし本年度會計決算報告に關する件は滿場一致を以て報告案を承認し最後に役員一名補缺に關する件は先例に依り次期總會に於て之を執行するに決し同六時三十分散會したりと

●市原一銀總支配人 ●●●●● は一昨日來城中の稅關長を精華亭に招待して盛なる宴會を催せり

●討伐隊慰問袋に就いて 愛國婦人會が暴徒討伐に關係せる諸氏に寄贈したる慰問袋總數は三万四千七百十七袋に達したるが今一袋を平均長八寸、横六寸厚一寸五分と假定して延長する時は實に左の如くなり

長さ 二里五町八間五尺六寸

横 一里廿一町四間四尺二寸

厚さ 十四町廿七間五尺五寸五分

尙一袋の代金四十錢と見積れば實に一萬三千八百八十六圓八十錢に上れりと

●暴徒討伐彙報 黃海道青丹、[illegible]山、瓮津各分遣所憲兵を以て組織せる搜索隊[illegible]以下五補助員十は十一月三日青丹北方約六里排坪に於て約五十の賊を討ち三を斃し銃二刀一を鹵獲す△平安南道玉山分遣所憲兵二補助員四は十一月十日玉山東方約八里に於て約五十の賊を討ち七を斃し銃七を鹵獲す△平安北道新興里分遣所憲兵十補助員三は十一月七日新興里東方約六里梨樹院にて約二十の賊を討ち五を斃し銃二火藥若干を鹵獲す△忠州東方平洞分遣所憲兵三補助員三は十一月八日提川西北方約一里の山中にて約二十の賊を討ち五を斃し銃二彈藥若干を鹵獲す△忠清南道溫泉里分遣所憲兵二補助員四は十一月十三日溫陽南方二里にて十余の賊を討ち三を殪し銃三刀二彈藥雜品若干を鹵獲す

●仁川燈臺局長の歸任期 仁川燈臺局長島重次氏は公用を以て先月來東京に歸朝中なりしが去る十五日東京を發し目下大阪に滯在中なるが來る二十一日に歸仁する筈なりと

●大韓山林協會 ●●●● は朝野の紳士を精華亭に招待して懇話會を開催するよし

●稅關長懇親會 ●●● 各稅關長の來京を機とし度支部及び關稅局職員一同は本日午後六時より清華亭に於て懇親會を開催す

●清國領事觀菊見合 昨日午後六時より官民數十名を招き仁川清國領事館にて開催する筈なりし領事唐恩桐氏の觀菊會は同國皇帝及び西太后崩去の公報に接したるため自然沙汰止みとなりたり

●木內次官の平癒 引籠中なりし木內農商工部次官は病氣平癒し本日の參與官會議に出席したるが公務の都合により平壤出張は當分見合す事とせり

●永濱總長の總領事訪問 清國皇帝及西太后兩陛下崩御に付永濱關稅總長は昨十七日同國總領事を訪問し弔意を表せりと云ふ

●吉松書記官歸任 ●●●●● 日本に出張中なりし吉松度支部書記官は一昨夜歸任せり

●大多和中佐の發期 軍司令部附高級副官大多和步兵中佐は第五十一聯隊附を命ぜられたるは既報の如くなるが後任者へ事務引繼の都合により十二月末日迄執務し十二月末か若くは一月上旬頃出發赴任すべし

●仁川穀物協會總會 仁川穀物協會にては再昨日決議したる米質檢查の方法及其の他の事項を協議すべく昨日午後一時より同協會樓上に於て[illegible]會を開きたるが其詳細は次號に報[illegible]

●小原事務官補 ●●● 鐵道管理局小原事務官補は十七日午前東上せり

◎公人私人

▲安田不二丸(統監府技師)十六日[illegible]向け出發

▲田中正[illegible](京控審記[illegible])十六日入城

◎近事片々

▲伊藤統監の法令雨下政策は近[illegible]韓人も在韓邦人間にも評判甚だ宜し[illegible]

▲法律の何たるを解せざる韓人に[illegible]邦人に對して余りに束縛過ぎて困[illegible]

▲法令の適用は其國の民度に適合[illegible]

▲亦た殖民地に對する法律は極[illegible]を要す然らざれば移住民に進取の氣[illegible]

▲法治國に於ては往々法の爲に[illegible]氣を沮喪せしむることあり深省を[illegible]

▲韓國民の如きは文明式の法律を[illegible]するは不可なり少くとも大岡的裁[illegible]

▲殊に保護國として統治する上[illegible]歩せる我法典を適用するは全く誤[illegible]

▲京城に於ては夙に此弊あり地方[illegible]も近來其弊甚し統監公に反省を促[illegible]

▲韓人の排日的思想は陰々に瀰[illegible]のゝ如し今に於て矯正するの必要あ[illegible]

▲昨夏政變當時は無賴の兩班等[illegible]日思想を鼓吹せしが今は全く趣を[illegible]

▲官公私立學校に於ても此傾[illegible]員たるもの々擧措に深く注意せざる[illegible]

▲兒童の頭腦に教師が斯る印象を[illegible]とは甚だ以て非也當局者は玆に巨[illegible]

▲最も奇異なる現象は最も親日[illegible]誇るものが暗に此舉措あるに至りて[illegible]

▲現在の儘にして推移せば半島[illegible]げて排日黨たらしむるに至らん乎[illegible]

▲之を以て徒に杞憂なりと云ふ[illegible]より堤の崩るゝ譬もあるものを心[illegible]

▲斯く味方の中より斯る思想の[illegible]は却て暴徒首領の煽動よりも甚だ[illegible]

▲次に近時出版書類に寄りても[illegible]することを得べし須く活眼を[illegible]

▲新刊書類が如何なる性質のも[illegible]を見よ必ずや思ひ半ばに過ぐるも[illegible]

▲次は婦人の家庭に於ける兒女[illegible]り是等も其影響する所案外に大な[illegible]

▲韓國婦人等が如何に統監政治[illegible]し又此研究は大に利益あ[illegible]

▲家庭に於ける婦人の訓戒が如何[illegible]國民の思想に影響すべきか注意[illegible]

▲後藤男爵の銅像を建設せんと[illegible]頻に協議を凝らし居れりとは其[illegible]

▲鄭平男の爲政は大分土民等に[illegible]られしと見へる矢張り手腕に偉な[illegible]

▲統監公をして假りに臺灣統治[illegible]めたりとせば鄭平男の如く歡[illegible]

（明治四十一年十一月十八日）　京城新報　（水曜日）　第百十三號　（三）

探偵實話 **奇縁（二）** ひで子

説き出す菊地が物語は、其頃自分は神樂坂の小三と云ふ藝妓に馴染んで盛んに、遊んで居たそうな、其遊び仲間で顏見知りの渾名を坊ちやんと謂ふ早稻田の學生が露子と謂ふ若い妓と現を拔かして、通つて居つた露子此時十八で丁度賣出しの流行つ妓、情夫氣取りの坊ちやんの得意、亦想ふ可きで在つた小三が或日、「アノ露ちやんに飾りからかふのは止しなさい坊ちやんが大變ですから」など〜謂つたが氣にも止めずに居た處、一月七日の日に其坊ちやんから端書が來た

拜啓陳者折入つて御面語の必要有之候に就ては明八日夜八時市ヶ谷八幡社内迄乍御足勞曲げて御光來被下度候

と謂ふ簡單な鉛筆の走り書、何の事かと思つたが男だ行け、行つたら判るだらうで其晩の八時頃、神樂阪の小三の家を出掛けたが生憎其日は朝からの雪で途中で止そうと思つた位、併し出掛けた者だからと漸く彼の八幡樣の石段下迄行くと向ふから飛んで來た者が在つた、と見ると「あ〜助けて下さい……斬られたんです……」と聲は低いが息せき切つてる、聲で判つた女だ、藝者だ、露子だ

「れ〜露ちやん歟、如何した……」

「あ〜菊地さん、來ますよ〜〜坊ちやんが」と倚も足袋の儘で駈けようとする、自分も遂い釣込まれて、慌てゝ近くの車宿へ、驅込んで、兎も角、直ちに神樂阪へ引返したへ一ヶ所、二週間程で愈つたが自分と露子と怪しいとの誤解が原因で、二人を殺して死ぬと謂ふ坊ちやんの意氣組だつたそうな勿論露子と相乘だつた傷は突創で脊中、其れ〜〜餘り馬鹿々々しいから坊ちやんに一書を發して神樂阪へは暫らく足を向けなかつた其内名古屋へ轉任の命に接し赴任の途中で図らず露子に逢つたので、聽けば名古屋の商人に身を引かされて今共に行く處だとの話、其時一寸坊ちやんの樣子を尋ねたら

「はあ、彼の方も丁度彼の時分學校は退校を命じられるし、れ金は費しつまり自暴で彼んな事をしたんでせう、今は岡山、れ國ですつて其處へ歸つてるそうです、はあ彼の晩切り逢ひません

●料簡違ひの夫婦
……養母を虐待す……

タトヒ身体髮膚を父母より授けられずとはいひ長の間手しほに掛けて育てられた義理ある母をば今となりて邪魔物扱ひにし虐待酷過を敢てする料簡の間違つた奴こそあれ所は大和町二丁目出口附近に住む大工職加藤某といふものなるが同人は今より一月程以前女房のれサイと今年六十三になるれミツといふ養母を連れて京城に來り今の所に世帯を持ち自分は龍山のある棟梁の所に雇はれ仕事大事と日々精を出して稼ぎ居るは宜きも同人は根が無教育に加へて人並優れての吝商家とて移り替はりの衣類は勿論三度の食事すら碌々喰はず唯溜める一方にて仲間のものよりは鹽澤と綽名され居る位なるが尤も斯ういふ奴の女房に限つて似た者夫婦の譬び通りヤハリ亭主の性質を其の儘大のシミツタレなるがソレはサテ夫婦の者は母が何の手助けともならず毎日〜〜遊んで居るので〔illegible〕邪魔物扱ひに〔illegible〕物の穀潰しがと惡口を吐き果ては三度の食事さへも碌々當てがわぬ有様に養母は夫婦のもの〜無情を今更らながら怨み喞ちイツソ今の内に死んで了つたがマシと明け暮れ悲嘆に暮れ居るをいつしか國許の親戚が此のことを聞き知り二三日前加藤方に來りて夫婦のもの〜不心得を懇々と諭せしさかさるにても老先短き老母の身の上こそ氣の毒とこそいふべし

●嶄新なる逮捕術
……暴徒を素手で捕へる法……

世界無錢旅行者の中村春吉なるものは過日群山に赴き暫らくの間同地に滯在し居りたるが氏は在韓中錦江流域に於て雁を一度に三萬羽を捕へる發明を爲すべく少なからぬ苦心を重ねたるが其の結果思はしからざるも折角思ひ立ちし程なれば向後更に研究を積む考へなりしか然るに破天荒の計劃をのみ想像する氏は更に目下韓國内地に跳梁する暴徒が武裝進擊する處を此方は素手で五十間手前にて之を難なく逮捕する術の發明に取り掛り種々工風の結果稍成功したるより近日中群山警察署廷に於て之れが試驗をなさんとて該旨増田署長に申込み承諾を得たりと云ふ

何分君は五寸釘を拳骨で柱に叩込むは勿論印度の廣原に於て猿を素手で捩り殺したと云ふ豪傑ものなればドンナことを遣るか大に見物なり此の逮捕術にして成功すれば序手に暴徒が打ち出す鐵砲の彈を掌に握り潰す發明をもして貰いたいものである

●親は曇れり娘は光れり
…自分の金で前借金を返す…

南部仁峴六十六統姜召吏の娘珊瑚珠（十九）といふは其の名の通り美しく世にも稀なる美人なるが儘にならぬは一家の不如意にて兩親も喰ふや喰はずの已むなき破目から娘をば二年以前西部阿峴洞東敬春なる蝎甫屋へ八十圓にて賣り飛ばせしより珊瑚珠は可惜花の蕾を嬴なしにし當座は泣きの涙で厭や〜ながら淺ましき勤めを爲し居りしが根が平常より心掛けの宜き女丈ありて其の間とても強かな金を一文でも無駄には遣はず今日迄百餘圓の貯金を拵へしが近頃珊瑚珠はシミ〜〜勤めが厭になり兩親の許に立ち戾らんと一圖に思ひ込みし揚句二三日以前家人の寢鎭まれる隙を窺ひ窃つと主家をば抜け出で〜吾が家に逃亡せんとする處を運惡くも主人の爲めに認められ此の不埒な阿魔奴がと散々挟ち打擲され續いて毎日〜〜折檻され居る事を西部警察署にて聞き込み早速女の父を呼び出して左様に女が賤業をしたくば前借金八十圓を返却して娘をば引取るがよからんと說論せしより父も不覺に思ひ一昨日來て相談の上親許身受けをなしたりといふが娘は嬉さに堪へず兩親に向つて此から必ず安樂に暮させる程に何うか安心して蝎甫屋に歸らないで呉れさシミ〜〜〔illegible〕のことなり

●**店員評判記**

平山牧場店員 森豊六郎氏

數ある平山牧場の店員中で他の模範とも典型ともいふべき人物は恐らく氏に若くものはなからう氏は本年ヤット二十二歳の青年であるが而も其の意志の堅固と氣力の旺盛と操行の方正とは確に當今の青年としては珍らしい生れは長崎縣西彼杵郡矢上村に土地の小學校を卒業し韓國に渡つたのが去る三十八年で直ちに牛乳配達人として同牧場に身を委ねしが其の熱心なる働き振りと忠實なる心掛けとは日ならずして主人の信用を博し現今にては販賣係、兼配達人取締といふ〔illegible〕「勤儉」の二字を服膺し未だ曾て一日と雖も怠たることがない宜なり僅々四年間の中に五百圓餘りも貯金して居るといふことである蓋し未來の商界に於ける一異彩ある人物ともなるべきは今より斷言して憚らぬ

平山牧場店員 北島幾平氏

氏は長崎縣の產である平山牧場に奉公したのは今より二年以前明治三十九年の春頃である將來の目的は飽迄商賣人として身を立て豪商として社會に貢献したいとの事である賦性朴訥にして沈着一意唯主人に仕へ先輩を敬ふ所から一般の氣受けも好いやうである現今にては二百圓餘りの貯金があるさうだ

平山牧場店員 山口清三郎

氏は當年十八才の青年である生國は長崎縣鄉里の小學校を卒業するや將來は牧場主となりて實業界に名を成さんと志すと同時に兩親にも其の希望を語つて平山牧場に奉公したのは昨年の夏頃である爾來孜々汲々職務に勉勵し且節儉を旨としたので現今にては主人の信用を受け貯金も二百圓近く出來たさうである性質は慧敏商賣は上手である

平山牧場店員 吉川相五郎

今年十七歳の青年としては感心な人物である第一性質が正直で少しも骨惜みをせず主人及び先輩に對して未だ曾て一回も陰日向を仕たこともない而も温和にし情氣に厚く且つ勤儉の心に富み加へて居常遠大なる希望を抱いて居る貯金は二百圓弱故鄉は長崎である

平山牧場店員 平山路加

氏も亦二百圓許りの貯金を仕て居る本年十四歳として以心掛けの好い少年である平山牧場に住み込んだのが昨年の春頃年にも似合はず商賣が上手で時には人の意表に出るが如き奇略を廻らすので先輩からも望みを屬されて居る人と成り恰悧にして掛引に巧みに一を知つて十を悟るといふ性質である生國はヤハリ長崎である

▲**新年號附錄**▼

追々と新年も近寄つて參りました、例に依つて各新聞雜誌社が新年附錄を調製する爲め之が趣向と意匠とにつき今より苦心を重ねて居りますのは毎年何所も同じことであります却說本紙は此の來るべき新年に際して何のやうな附錄を調製して愛讀者諸君の眼を喜ばしめやうかと種々樣々と考案を廻らした末、双子六を添付しやうといふことに決定しました、申す迄もなく、双子六は新年に於ける家庭の娛樂法としては最も趣味に富んで居る面白い遊戲であります、而も之が意匠と趣向とは從來有り振れたる陳腐のものではなく極めて嶄新にして奇拔なものでありますツヤリ之が内容を一言に申しますと京城の各商店、銀行、會社、旅館、料理店（個人も含む）等を順々に並べ本社を振り出しとして振り始むのであります、思ふに之れ唯に趣味ある娛樂法たるのみならず一面には京城の案内記とも見るべきものでありませう若し夫れ如上の各商店銀行、會社、旅館等に於て一朝之れが双子六中の者となつたならば其の廣告の効能は偉大なるものだらうと思ひます廣告の締切は十二月五日限りです

▲**新年號附錄**▼

●命は助かる　西部盤石坊趙景道（三〇）は阿峴七十二統五戶申敬道（三八）及び金相鉉（三八）の兩人より三百圓を借りたるも甚麼しても返濟が出來ぬ處から一昨日午後四時敬道方の庭の柱に縊れて兩人からウン〜といふ程撲られ虫の息をつき居る處を西部署の巡查に發見され兩人は昨日裁判所へ送らる

●店を荒す　一昨日午後一時半頃南大門通り雜貨店牧野豊七方へ一名のヨボ來り店先に陳列せる品を手當り次第に取つては投げ取つては投げ果ては足で蹴散らし損害價格十圓餘に及ぼしたるが此のヨボは西小門内洪化成（三八）と云ふ奴にて少し酒に醉つて居るらしいとのことなりし

●それ危ない　本町二丁目高橋運送店雇豐田一造は一昨日午前八時半頃郵便本局より荷物を受取つて南大門驛に行く途中南大門通りにて西部華山洞大編（二二）の足を過つて轢き療治代として三十錢徴發されたり

●女房が仕拂ふ　旭町二丁目料理人西君時次は一昨夜同一丁目飲食店丸一に來り一圓四十錢の飲み喰ひをなせし揚句が一文なしなので南部署より巡查出張せしが結局時次の女房が拂つて濟みとなれり

●極樂から地獄　西部阿峴洞車子里二十統十九戶金元益（三五）は一昨日午後一時西小門内ト東橋の某清人方にて阿片を喫して居る處を巡查に認められ昨日裁判所へ送らる

●特別藝妓檢査　仁川敷島遊廓にては一昨日特別藝妓の身体檢査を施行したるが受檢者八十名ありたる中一人の異狀者もなかりしと因に入院中なりし朝日樓支店の君香は目出度く退院したり

●京城賣買組合會の設立　京城の商取引は重もに掛賣にて現金取引は至つて僅少なる所より從つて相互の間に弊害を生ずることは世人の一般に遺憾とする所なるが今回此の弊害を排除し現金取引の風を鼓吹する爲め標題の如き組合會組織せられたり其の方法は會員組織にて之が會員たらんとするものは金三十錢を拂ひ込みなば一圓の割引券並びに種々興味ある福引券を渡さる〜仕組なるが詳しくは昨日の廣告欄に就て見らるべし

●日本近世時代史　早稻田大學の豫約募集に係る同書は既版の德川幕府時代史、幕末史に加ふるに維新時代史を以てせるものにて三卷二千三百餘頁の大冊なれば近世史として完璧に近きものなるべし思ふに近史中特に維新前後に係はる事蹟は大抵杜撰に陷らざれば一方にのみ偏し比較的公平の史籍なきは吾人の久しく遺憾とする所なるが今此の書に依つて其の缺を補ふを得ば之れ學界の慶事たるべし代金は六圓五十錢申込期限は十二月廿日限り見本を要するものは東京牛込早稻田大學出版部に申込まるべし

●天氣豫報（自十六日午後六時至十七日午後六時）
北又西の風晴
十六日午前六時各地氣象概況
今朝低氣壓は本海にあり此を以て各地一般に北又は西風吹き天氣晴朗一點の雲を見ず

家庭用燃料 無煙煉炭 特色 火付善く火力耐久價格低廉
用途 汽鑵、暖爐、厨用に適す
周防徳山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 巴商會
韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

落語 猫久 (三)

禽語樓小さん口演

熊「然りや當り前よ朝起きでお早うございますと言ひ天氣ならお天氣でございます雨が降りや鬱陶しうございますといふなア夫りや當り前ぢやねへか
女「當り前だけれどもよいけれども然りやお朝起きてお早うございますお結構なお天氣樣でございますといふなア然りやチャンとした立派な奥樣のことだアね裏店で其日稼ぎの嚊アで細帯を締めて結構なお天氣鬱陶しいお天氣もないもんぢやないか
熊「手前なんざ夫れだから不可ねへ夫りやアねへでも宜いから手拭を出しねへ
女「手拭を持つて今時分何處に往くんだい
熊「剣突を喰はせるやつがあるか何處に往くつて日の暮方に手拭を持つて洋行をする奴もあるめへ髪結床に往くと極まつてらア
女「髪結床に髭を剃りに往くのか
熊「當り前よザンギリを剃りに往くやつがあるものか
女「髪結床に往くのは宜いが早くお歸りよ
熊「早く歸れつて當り前よ泊り掛けに往くんぢや無へ
女「だつてお前將棊ばかり差して居るからさア夫れ從今夜のおかずはお汁もんだから……お表細や何かと違つてお汁もんだから鍋を何時までも掛けとくと炭ア夫丈け損だしそれに旨い汁もまづくなるから將棊を措すのはよして髭を剃つたら早く歸つてお出
熊「今日は將棊は差しやしねへ
女「宜いかね
熊「大丈夫
女「お菜はお汁物だから早くお歸りよッ
余んまりお汁物だからと吐鳴りましたから門口まで出掛ましたが少し感じたと見えて
熊「靜にしろッ篦棒奴お菜はお汁物だ、くといつて然んな大きな聲を出しや長家中に家のお菜が知れつちまはア
女「長家に知れたつて何にも法律に障はるやうなお菜は食やしない
言はれる方も云ふ方も常のことゝ見えて其後家を出て半丁どない近邊の髪結床に往つてガラリと障子を開けると六七人支へて居るから明日來やうかと思つたが此處まで來たもんだからと
熊「親方込むから明日にしやうかねへ
親「エ、明日にしやうは宜いけれども熊さん今此處で評判だが猫久はお前さんと一緒の裏に居るんだから知つてるだらうが今何處かで喧嘩をして人死にがあつたといふ話だ尤も町内の頭手相が中に這入つて納めたとか納まらないとかいふ話を聞いたんだが猫が然んなに暴れるといふなア不思議だがお前さん大体共譯を知つてるだらう
熊「ナニ親方猫ア嫌れちまつたかい
親「先刻から此處で評判だ

▲京城産婆案内▼

内務省免許産婆 永樂町一丁目 伊集院 電話三五八

内務省免許産婆 姙婦、産婦ニ限リマツサージ依頼ニ應ズ 京城旭町一丁目(民團役所横向歌舞伎座筋向) 岩永重乃 電話六五九番取次

内務省免許産婆 壽町三丁目 濱崎達子

内務省免許産婆 京城南山町三丁目 堀越直子

大東看護婦 助産婦 京城永樂町二丁目 大島壽美 岡土君代

内務省免許産婆 壽町三丁目 脇川きく

明治二十五年内務省免許産婆 本町六丁目 田淵左姫

内務省免許産婆 南山町三丁目 杉原ハナ

宮内府免許産婆 京城南山町二丁目 原田都矢

祝開店七週年紀念大賣出

各位益々御隆盛之段奉賀候陳者弊店儀今回外地に於て呉服商開店致されし故其品全部引受候に付來る十三日より二十日迄メチャ〳〵大安賣り仕り候間當日は早朝より陸續御光來之程奉希願候敬具

名 仙赤札外正札より一割引

博多九寸	一本付	三圓より
東京双子	一反付	四圓より
木綿縞	一反付	一圓卅錢より
眞岡更紗	一反付	七十五錢
		七十五錢

金巾裏地	一反付	八十錢
友仙モス	大巾尺付	二十錢
無地モス	大巾尺付	十六錢
金巾更紗	大巾尺付	九錢
伊太利子ル	大巾尺付	九錢

其他大見切品澤山有之候

京城本町三丁目商號近江屋 圓城呉服店 電話一五七番

▲轉宅荷物運搬

(京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負)

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は遠近を問はず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ萬一店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り三丁目二十番戸三浦商店向側

有田運送店 店主 有田豐太郎

軍旅必携

大日本 發賣 守田寶丹

MORITA'S HŌTAN.

起死回生 寶丹 明治十年以來 大學東校免許

官許本家 東京池之端仲町 守田治兵衛

MORITA JIHEI.

代理店

仁川本町 新井藥房 (電話一六一番)

京城本町 新井藥房支店 (電話四七八番)

▲木炭荷着▼

今般開城、平城、南川、新幕、炭各種製造元より數萬の木炭を買占め尚又各地へは店員を派し品質量目等を診味致し候に付尤も安全なる品を特別廉價にて御小賣とも精々勉強致し御注文に應ずべく候間續々御用命被下度奉願上候

尚御賣は貨車南大門驛到着の節最も薄利にて御相談に可應候

京城壽町三丁目 薪炭 石炭 御小賣商 今福商會

同開城出張所 今福商會

◉十一月十五日より

上等木綿裏地(絹地代用) 壹千反限り 壹反に付 八十二錢

糸入縞 五百反限り 壹反に付 壹圓廿二錢

其他綿布メリヤス類卸直段◉正札附◉無類の大安賣仕可候其他從來の日用雜貨品正札より一割引可仕候

京城本町二丁目 大伴京城支店

神佛葬具請負 並に佛具販賣

貧困者は特志取扱申候

京城南山町四丁目(花月向)

雜誌 大阪佛教取次所

左文字屋 取次電話八四九番

開業廣告

よろづ 染物

洗はり湯のし上繪紋其他御染物一切御好に應ず

京城旭町一丁目 山縣染工場

インペリアル GDS 土耳古煙草直輸入卸小賣

本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ

ジーデーシエリス會社

出張所 明治町壹丁目

エムジーシエリス商會

一ヶ月八圓の下宿

黄金町 統明館 (明治町突當り)

電話 開通 四七二番

板材 木商 並に床廻り材料及竹類

京城大和町軍司令部通角 江藤材木店

▲第四十一回 ◉第廿三次 ◉第八十一次 ○第廿二次

第四十一次	大連全紙 頭彩金壹萬圓	新暦十一月三日 舊暦十月十日
第廿三次	安徽全紙 頭彩銀壹萬圓	新暦十一月十日 舊暦十月十七日
第八十一次	湖北全紙 頭彩銀五萬圓	新暦十一月十八日 舊暦九月廿四日
第廿二次	江南全紙 頭彩銀四萬圓	新暦十一月廿六日 舊暦十月二日

開彩

定價

大連全紙金壹圓參拾錢

安徽全紙金壹圓貳十錢

湖北全紙金七圓五十錢(小切八十錢 即チ十分ノ一)

湖北彩票模價便宜從の改正

江南全紙金七圓(小切七十五錢)即チ十分ノ一

確實發主如遠隔地方御購求希望者御賄金並書留信料添附急速御用命通可贈付不誤賣願

京城銅峴十八銀行通

御小賣商 同順泰 本店

仁川港支那町八番戸

群山同順泰支店

西洋雜貨、洋酒、食料品

各國煙草、洋菓子、化粧品

洋反物、毛氈、各式毛布

支那緞子、紋繻子、繭紬類

各國更紗、彩票毎月販賣仕候

公安衛御用

新疊及表替調達所

京城(不明)

竹中房太郎

電話(不明)

土地家屋 金錢貸借 人事物件 雇人口入業 ちとせ屋

右は精々御便宜に御扱可申候間一層御引立奉願上候

歌舞伎座前

煙突掃除 ストーブ据付請負

電話三二四番 衛生社

純良牛乳 消毒安全

日本郵船株式會社 仁川 瀛船出帆廣告

● 釜山長崎門司神戸行 山東丸 十一月廿一日 後三時出

● 大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十二月 八日後一時出

山東丸 十二月 八日前五時出

● 大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十一月十九日後一時出

● 釜山出帆、元山清津、浦鹽行 立神丸 十二月 二日

● 新潟丸 月日正午 大連行

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

仁川海岸通 郡回漕會 電話二九番

貨物及船客取扱店

城南大門通 巴商店 電話三〇六番

茶 紅茶 開春園

席 御料理 會席 肴四品の内茶むし壹 御酒試本 金一圓

頗る割烹の酌婦も輸ひ是非御來店を

明治町三丁目

● 新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金四十五錢 三ヶ月前金壹圓 一ヶ年…

● 廣告料